

施設紹介

文化・体育施設

文化・体育施設—001

施設名 — 北海道立オホーツク流水公園
あおぞら交流館

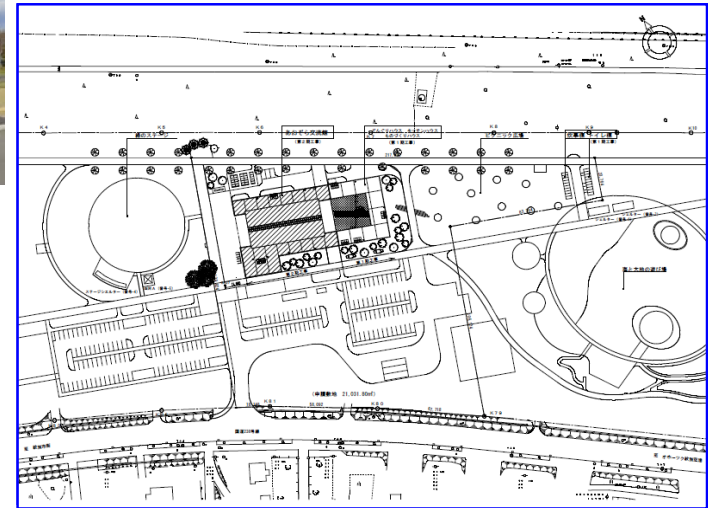
所在地 — 紋別市元紋別101-14他

構造・規模 — RC造 一部木造 平屋建
2,928.23㎡

完成年月日 — 平成21年3月13日

建築実施設計 — (株)環境設計

設備実施設計 — (株)環境設備計画





【設計コンセプト】

北海道立オホーツク流水公園は、道内で11番目に整備される道立公園で、網走支庁管内紋別市の中心市街地から約4km離れたオホーツク海沿岸に整備される公園です。

「流水を望み、潮騒が聞こえる、大いなる風景、緑豊かな手作り公園」をテーマに、気軽に緑と親しみ、四季を通じてオホーツクの風景を感じる場として、また、日常的な交流の場や目的に応じた趣味・体験学習の場として、地域の特性を活かした道立公園です。

「北海道立オホーツク流水公園あおぞら交流館」公園の拠点施設として、屋内活動室・遊戯室・多目的室・事務室で構成される公園の管理運営を行う施設であります。

外観は、地域の歴史的建築物をモチーフとした「切妻屋根」を採用し、地域の風土や景観に配慮した色彩としています。

また、木工、調理実習など様々な体験・学習・趣味の場として利用される附属施設はウッドデッキの回廊で繋げ、利用者の動線に配慮した建築計画としています。

■施設整備方針

- 住民による主体的かつ創造的な利用と管理を支援する活動空間の多角的創出

当該施設は、公園整備の方針でもある「住民参加型の公園づくり」を目指しており、設計にあたっては、市民参加のワークショップを開催し、市民からの要望・意見を積極的に反映させています。

- 地域の素材や自然エネルギーを活かした省資源、省エネルギー、長寿命建築の実現

地域資源でもある木材を活用するため、地場産木材・道産木材を使用した大断面集成材の屋根小屋組に活用しています。

また、内装仕上げ材・外部建具・屋内木製遊具等に使用しております。

行政施設

行政施設-002

施設名 - 北海道檜山家畜保健衛生所

所在地 - 檜山郡江差町字田沢町
281番地の1

構造・規模 - RC造 1階建 543㎡

完成年月日 - 平成16年3月1日

建築実施設計 - 平尾・ブंक (共)

設備実施設計 - (株)共同設備企画事務所

土木実施設計 - 住都コンサルタント

【設計コンセプト】

○ 地域性への配慮

歴史のまち江差町として、落ち着いた重みのある素材を使い低い彩度の色調でシックな佇まいとしました。

冬に強風(たば風)が吹くことから、風に対して屹立するのではなく風と存し受け流す形態としました。

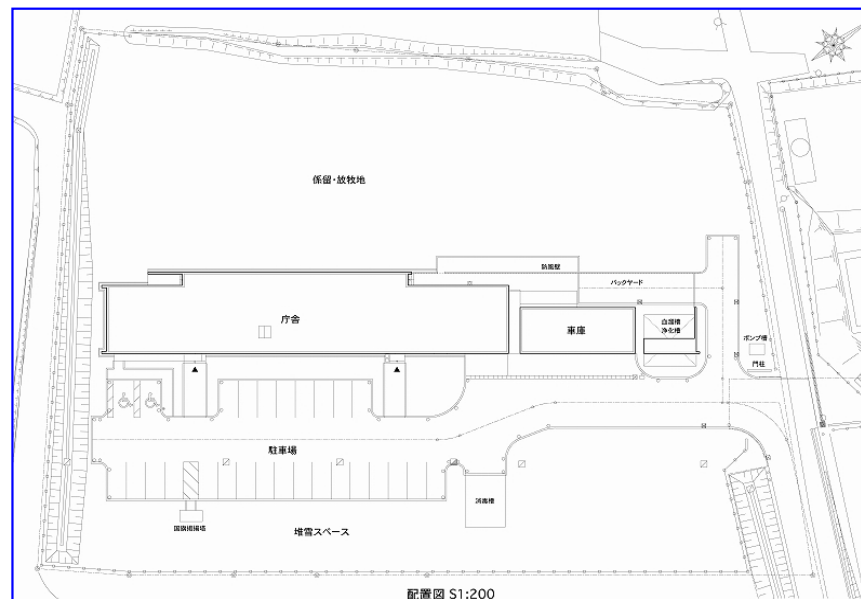
牧歌的ランドスケープのロケーションから、現代的でシンプルな形態としました。

○ ライフサイクルコスト縮減への配慮

耐久性の確保として、スケルトンはRC造、外装材は磁器質タイルおよびアルミスパンドレルを採用しました。また、S造車庫屋根材はニッケルクロードステンレス鋼を採用しています。

ランニングコストの縮減として、内装も耐久性のある素材を採用しました。実験ゾーンは耐水性がありメンテナンスの容易な珪酸カルシウム板を採用し、一般部では地域材である道産ひば材を使用しました。

最大限の省エネを目指し、共用部(廊下など)は自然採光をとり、高断熱サッシを採用しました。



行政施設—003

施設名 — 北海道日高家畜保健衛生所

所在地 — 日高郡新ひだか町静内

旭町2丁目88番地の5

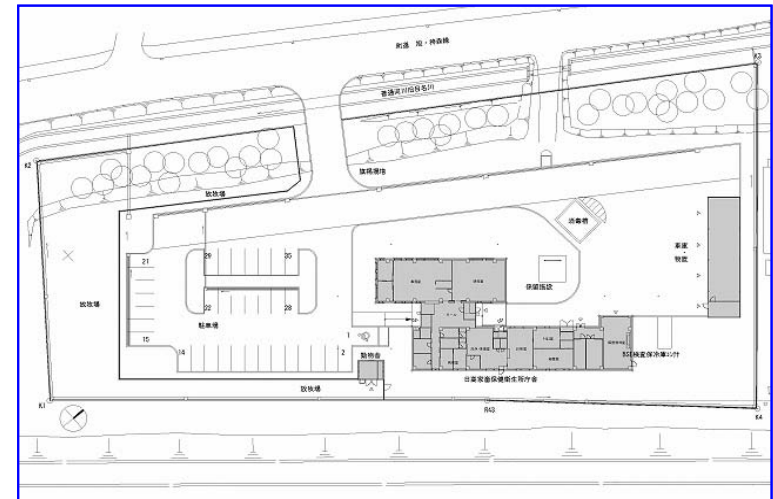
構造・規模 — RC造 1階建 578.37㎡

完成年月日 — 平成17年2月21日

建築実施設計 — (有)倉本たつひこ建築設計室

設備実施設計 — (株)岩見田設備設計事務所

土木実施設計 — (株)アイネス



【設計コンセプト】

○ 地域性への配慮

日高家畜保健衛生所は、競走馬の飼育や酪農などの日高の地場産業にとっては非常に重要な施設です。そして、牧場の連なりと山並みをもたらす雄大な当地の風景は、かけがえのない豊かさを地域にもたらしめています。

本施設の設計にあたっては、家畜保健衛生行政に対する信頼感のベースとなる機能性・安全性を保ちながら、こうした「地域の豊かさ」の表現をめざしました。このコンセプトは、比較的安全な事務関係部分と病原体もあつかう実験室部分を分離した配置動線計画から、北海道産の唐松や煉瓦という材料・色彩の選択にいたる細部にまで徹底されました。

○ 省エネへの配慮

外断熱工法の採用による冷暖房効率の向上とコンクリート躯体の耐久性向上や、深い庇による日射コントロール、多方向の採光による照明時間の縮減などの省エネ・温暖化対策を先駆的に取り入れています。



行政施設-004

施設名 — 北海道苫小牧地域保健部庁舎

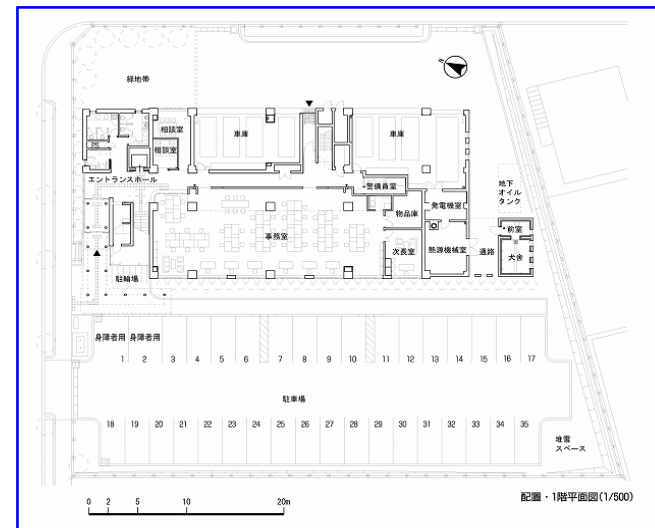
所在地 — 苫小牧市若草町2丁目2番21号

構造・規模 — RC造 一部鉄骨造
1,919.47㎡

完成年月日 — 平成17年9月22日

建築実施設計 — (株)北海道日建設計

土木実施設計 — (株)宅地開発研究所



【設計コンセプト】

建物中央部に配置したシャフトスペースを有効利用することで、コンパクトで効果的に「自然採光」と「自然換気」が活用できるエコ庁舎としました。

○ 自然採光の活用

自然採光は、各階中廊下に面したシャフトスペースの内壁を、網入りガラスと和紙調フィルムによるガラス張りとする事で、頂部のトップライトから導入しました。また、トップライト垂直面に鏡面アルミ板を設置していますが、ガラス以外の内壁面に普及品で光沢のある化粧ケイカル板を使用することで、コストを抑えながら下階まで自然光を導く工夫を行いました。

○ 自然換気への配慮

自然換気は、1、2階の執務室に面したシャフトスペースにFD付きのガラリを設け、頂部トップライトの垂直面を開放することで、煙突効果を利用して行いました。また、内部のダクトや配管を極力まとめて配置したり、苫小牧の卓越風（夏は南風、冬は北風）を利用して風が抜けやすい換気窓の向きや塔屋の形状とすることで、煙突効果をさらに促進させました。



行政施設-005

施設名 — 西岡ダム管理事務所

所在地 — 上川郡剣淵町南桜町

構造・規模 — RC造 2階建
228.91㎡

完成年月日 — 平成20年8月8日

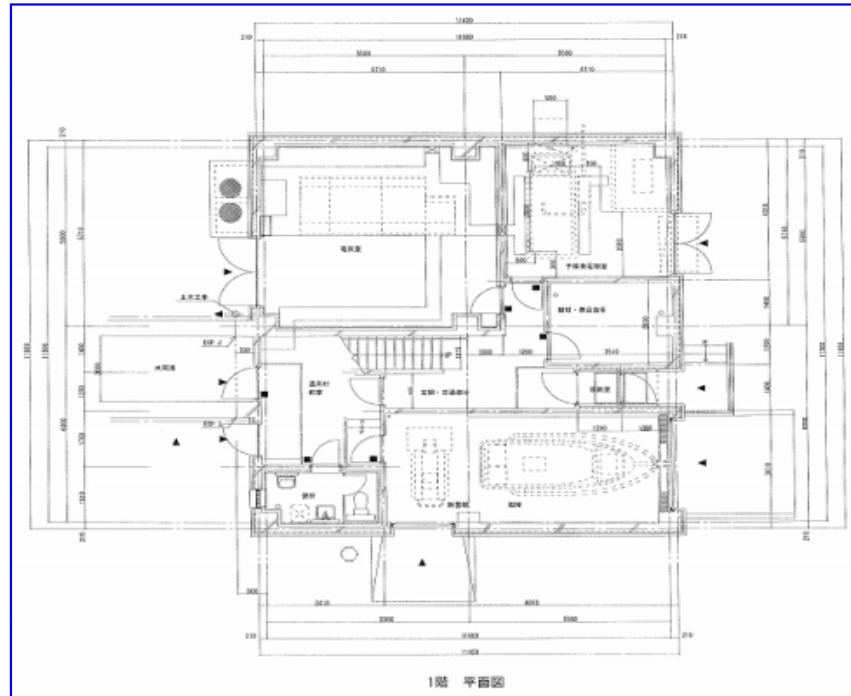
建築実施設計 — パシフィックコンサルタンツ(株)

【設計コンセプト】

建築物内の施設機器はダムの維持管理運営において必要な施設となることを十分理解したうえで、便利かつ安全なものとし、施設の利用状況に応じた機能が十分発揮されるように技術的・造形的さらに周辺への影響を考慮し、社会的にも調和の取れた設計としています。

○ 景観への配慮

建物周辺の景観に配慮し、建築物の大きさが必要以上とならないよう、空間構成（平面・断面）としています。



労働福祉施設

労働福祉施設-006

施設名 — 北海道立釧路高等技術専門学院

所在地 — 釧路市大楽毛南1丁目

構造・規模 — RC造 一部鉄骨造
7,183.13㎡

完成年月日 — 平成16年3月15日

建築実施設計 — (株)岩見田建築設計事務所

設備実施設計 — (株)環境設備計画

土木実施設計 — (株)シン技術コンサル

【設計コンセプト】

○ わかりやすい動線

本施設は、体育館や学習スペース、ワークショップに相互的連続性を持たせ、自由に行き来ができるように分かり易い動線を目指して計画しました。

その結果、教師や生徒の視線が交差し、出会いや会話が自然と発生する環境ができました。

○ 地域交流への配慮

体育館は研修成果の発表・展示・講演などをおこなう地域社会との交流空間として、学習スペースはフレキシブルな対応が可能です。また、プレプロダクションのためのワークショップも完備しております。

これらの空間は目的空間と機能的につながり、一体となって空間相互の役割を高められています。

